目盛＝100m

最寄の津波避難ビル及び指定避難所

No.	名　　称	避難する階	海　抜	区　分
1	三重機械鐵工(株)	厚生棟3階 原寸場3階	1.8m	津波
2	南部浄化センター	屋上	4.9m	津波
3	株式会社 渡辺鉄工	原寸場2階	1.5m	津波
4	楠交流会館	3階及び4階	1.4m	指定・津波
5	楠地区市民センター	3階	2.2m	指定・津波
6	楠小学校	3階及び屋上	2.3m	指定・津波
7	楠中学校	3階及び屋上	2.6m	指定・津波
8	楠防災会館	3階及び屋上	1.3m	指定・津波
9	楠避難会館	屋上	0.8m	指定・津波
10	北勢公設卸売市場(株)	3階及び4階	4.6m	指定・津波
11	河原田地区市民センター	―――	7m	指定
12	河原田小学校	―――	6m	指定
13	四日市農芸高校	―――	14m	指定

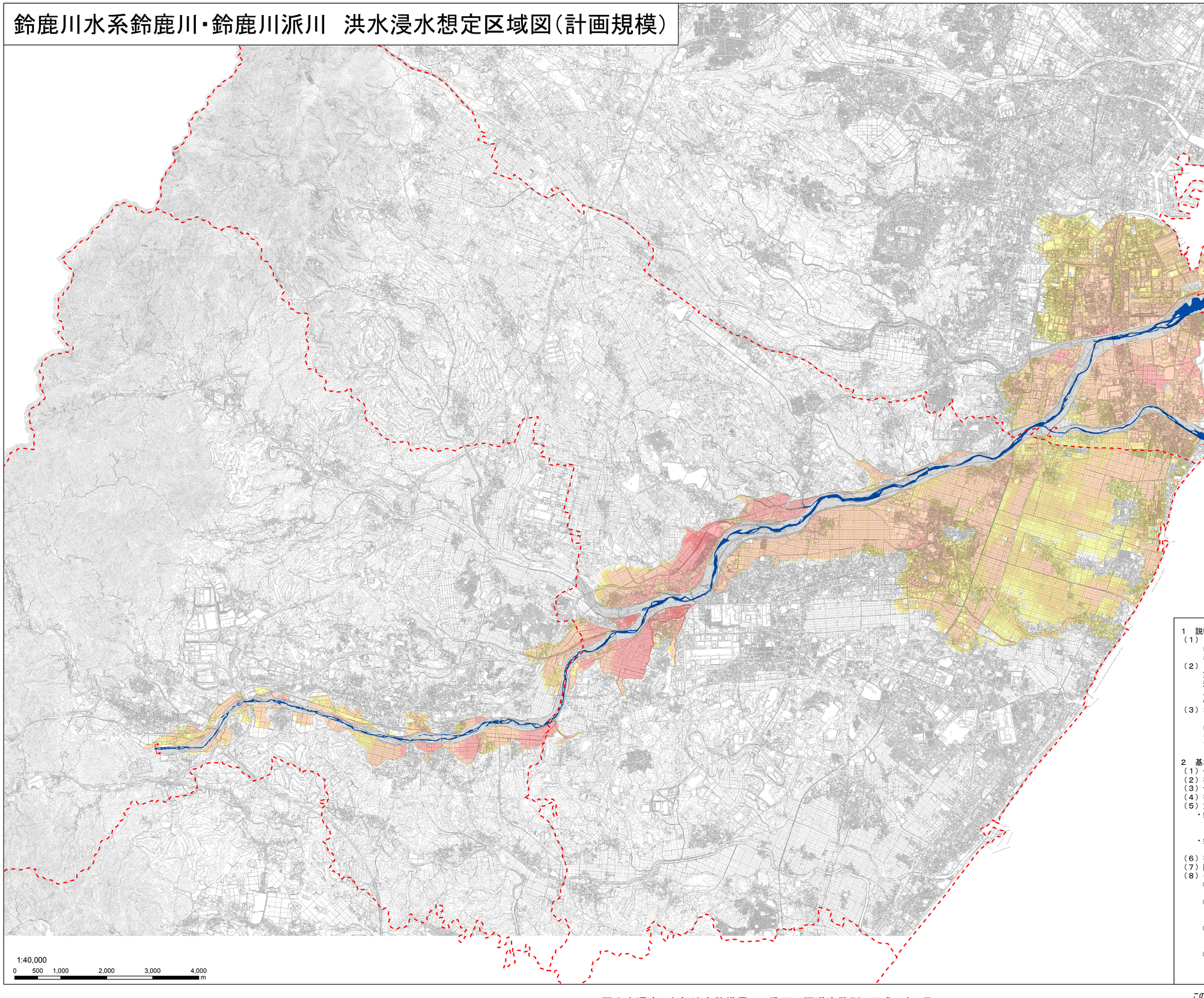
津波浸水想定ライン

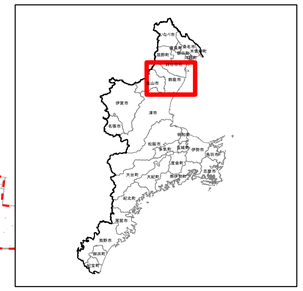
津波避難目標ライン

凡例	マーク					
	意味	避難先として長期収容を目的とした建物	津波から一時的に避難する建物	防災倉庫	水防倉庫	緊急用貯水槽 応急給水拠点

※この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2006 三重県共有デジタル地図（数値地形図2500（道路縁1000））」を使用し、調整したものである。（承認番号：三総合地第278号）本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。

鈴鹿川水系鈴鹿川・鈴鹿川派川　洪水浸水想定区域図（計画規模）





凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m～10.0m
- 3.0m～5.0m
- 1.0m～3.0m
- 0.5m～1.0m
- 0.3m～0.5m
- 0.3m未満
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（1）この図は、鈴鹿川水系鈴鹿川・鈴鹿川派川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の鈴鹿川・鈴鹿川派川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川・鈴鹿川派川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所
（2）指定年月日　平成28年5月31日
（3）告示番号　国土交通省中部地方整備局告示第84号
（4）指定の根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
（5）対象となる洪水予報河川
・鈴鹿川水系鈴鹿川（実施区間）
左岸：三重県亀山市関町新所字宿屋614番の2地先から海まで
右岸：三重県亀山市関ヶ丘字三千坊597番の26地先から海まで
・鈴鹿川水系鈴鹿川派川（実施区間）
鈴鹿川からの分派点から海まで
（6）指定の前提となる降雨　鈴鹿川流域の6時間総雨量268㎜
（7）関係市町村　鈴鹿市、亀山市、四日市市
（8）その他計算条件等
①この図は、鈴鹿川・鈴鹿川派川の洪水予報区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
②この図は、鈴鹿川の河口から約1.8kmより上流及び鈴鹿川派川の河口から約1.4kmより上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

国土交通省　中部地方整備局　三重河川国道事務所　平成28年5月

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、
同組合所管の「2011三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図10,000）」を使用し、
調整したものである。（承認番号：三総合地第189号）
本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。